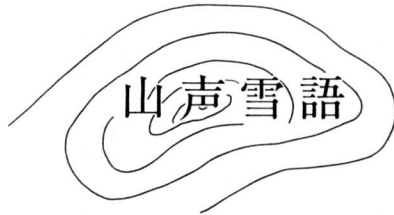


京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2652回★ 久田見山 一等三角点 685.6m	6月2日(土) AM7:00 竹田駅西口集合	吉田 武	京都南IC—多治見IC—R248 可児市—R41・418八百津橋—長者 屋敷林道に駐車…林道…電波塔 階段…藪漕ぎ…久田見山山頂… 林道—八百津橋—多治見IC— 京都南IC—竹田駅西口
備考		・装 備 日帰り登山装備 ・地 形 図 1/5万図「金山」, 1/2.5万図「可岐」 ・参加希望者は担当者へ必ず連絡してください。	・費 用 2,000円
第2653回★ 岳連 平成24年度 一斉清掃登山 西山・苔寺 ～松尾山～嵐山	6月3日(日) AM9:00 苔寺バス停集合	方山 宗子 岡田 茂久	苔寺バス停…松尾山…嵐山
備考 ・参加希望者は必ず担当者へ連絡してください。			
第2654回★ 大峰山系 頂仙岳 三等三角点 1,717.4m	6月30日(土) AM7:00 竹田駅西口集合	井戸 澄夫	竹田駅西口—(京奈和道R24)— 田原本—天川村—坪内林道終点 …栢尾辻…頂仙岳…狼平…往路 下山
備考 ・大峰の名花オオヤマレンゲを鑑賞する予定です。 ・帰路, 温泉で入浴する予定です。 ・参加希望者は担当者へ必ず連絡してください。			
第2655回★ (海外例会) 韓国濟州島 ハルラ山 1,950m (韓国最高峰)	8月19日(日) ～22日(水)	井戸 澄夫	19日 関空から濟州島へ 20日 ハルラ山登山 (天候により21日と振り替える) 21日 濟州島内観光 22日 帰国
備考 ・参加者6名確定していますが, あと数名参加可能です。担当者に相談してください。 ・航空機はチェジュ航空または大韓航空を利用します。 ・費用は5～7万円です。			
6月の集会		6月の企画運営委員会	
日 時 6月11日(月) 18:30～ 場 所 holly's café (ホリーズ カフェ)		日 時 6月20日(水) 18:30～ 場 所 holly's café (ホリーズ カフェ)	
7月の集会		7月の企画運営委員会	
日 時 7月10日(火) 18:30～ 場 所 holly's café (ホリーズ カフェ)		日 時 7月20日(金) 18:30～ 場 所 holly's café (ホリーズ カフェ)	



暑さが増してきた。ただ、朝晩は結構涼しく、温度差で体がだるい。さらに、黄砂のせい、鼻水がよく出る。私だけでは無いようだ。

ただ、上空に時として寒気が流れ込み、積乱雲を発生させ、雷による被害をもたらし、アメリカの話と思っていた猛烈な竜巻も関東で発生し、厳しい被害が出た。二年前は大雨で土砂災害が京都でも頻発した。もうすぐ梅雨だけに、今年はどうかと仕事から気をもんでいる。さらに、この夏は原発停止による電力不足が大いに懸念されている。大飯発電所の原発が再稼働されるとしても、夏には間に合わないと言われている。大飯発電所の発電量は、国内原発では、柏崎刈羽、福島第一に次いで第三位。発電やその他の経費を含め、考えたことも無かった電気コストに真剣に向き合う時が来ている。単に電力使用の削減だけでは、経済活動が停滞し、世界の中での日本の立場がどうなるか。

5月27日(日)の新聞で、竹内洋岳(たけうちひろたか)さんが日本人初となるヒマラヤ8000m峰全14座制覇の快挙が報じられた。途中10座目の「ガッシャーブルムⅡ峰」で雪崩事故に遭い、背骨と肋骨を折る重傷を負われた。少年時代はスポーツが苦手だったが、高校で偶然に入った山岳部で才能に気が付き、その後の山岳人生をスタートされた。人間どこに才能の“芽”が潜んでいるかわからない。こうだと決めつけず、いろんな可能性に向かうことができると勇気づけられた気がした。

5月6日(日)は坂井久光氏の米寿の記念登山であった。坂井氏も幼少のころは病弱で、長生きはできないと思われ、戦争でもシベリアで大変な目に遭ったと述懐されておられるが、日本の500m以上の一等三角点登山を制覇された。何か共通するものを感じてしまった。山の神様は、自分だけに向く人に最後はほほ笑むのだろうか。凡夫の筆者には想像のできない世界の気がする。

今年中に京交山岳部倉庫を移転しなければならなくなった。せちがらく、また、ゆとりの無い状況が、ますますひどくなってきている。山では少しでも“癒し”と“ゆとり”を感じればと思っている。

(2012. 6. 3 T. H 記)

【第2649回例会報告】

多紀アルプス 三岳(みたけ一等△793m)と小金ガ岳(725m)

井戸澄夫

前日までの雨も止み、初夏の日差しが眩しい。山々は新緑に染まり、若葉から発するむせかえるような匂いはこの時期特有のもので、生命の息吹でもある。国道9号から分岐して、府県境に向けて坂道を登る。路傍には卯の花が咲いている。綾部市と篠山市を分ける峠が大タワという。標高512mである。大タワには広い駐車場があり、立派なトイレもある。ここを挟んで東側に小金ガ岳、西側に三

岳（みたけ）が鎮座する。まず小金ガ岳から登ることとする。約1時間で小ピークを3つほど超えていく尾根道であるが、行くにつれ険しい岩峰が現れる。鎖やロープを頼る岩場もあり、多紀アルプスの名前もこうしたアルペンの風貌から名付けられたようである。京滋に湖南アルプスや金勝アルプスなどがあるのと同じである。小金ガ岳山頂は開けており、眺望がすこぶる良い。特に西に大きく立派に見えるのが三岳である。小金ガ岳山頂には残念ながら三角点がない。天気が良いのでハイカーが次々登ってくる。ほとんど中高年である。昼食・歓談の後、大タワまで下山した。大タワで小憩し、三岳への登りにかかった。三岳は小金ガ岳と違い起伏がなく、ほぼ1直線に登る。登山道は広く階段が多い。樹林の中を行き眺望はあまりない。山頂の手前に役の行者を祀る石室があり、この山も修験の山であったことが判る。山頂には立派な1等三角点が鎮座するが、杉の植林に遮られ眺望は悪い。方位盤と三角点の横に電波中継所が建っている。山頂はハイカーで大賑わいであり、中高年のほか、流行りの山ガールもいる。集合写真を居合わせたハイカーに撮ってもらった。

大タワまで下り、汗を流しに草山温泉観音湯に行った。結構広々とした日帰り温泉で、湯は有馬温泉に似て鉄錆び色で塩辛い。ぐるなびで入浴料700円が600円になる。ゴルフ場や美術館も隣接している。美術館には大きな観音像が立っている。純民間経営らしいが、観音様は経営者の好みか、あるいは信仰か。

帰路は行きと同じく9号線から京都縦貫道をとったが、いつものように沓掛の合流地点で渋滞した。京滋バイパスと繋がるまで（今年度中？）は仕方がないところである。地下鉄東西線太秦天神川駅で解散した。

【参加者】岡田茂久，方山宗子，森本清一，渡辺智生F1，井戸澄夫（計6名）

【コースタイム】2012年5月26日（土）

8：00 竹田駅西口 —（久世橋通・京都縦貫道丹波 IC・R9・R301）— 10：00 大タワ登山口…

11：00 小金ガ岳山頂（725m，昼食）11：30…12：30 大タワ（休憩）12：45…13：30 三岳（793m）

13：50…14：20 大タワ—14：40 草山温泉観音湯（入浴・休憩）16：15 —（帰路・R9，京都縦貫道）

— 17：45 地下鉄太秦天神川駅



小金ガ岳から見る三岳



三岳頂上（一等△793m）

山岳連盟自然保護委員会主催「府民新緑観察会」

岡田 茂久

2012年5月13日（日）、京都府山岳連盟自然保護委員会主催の府民新緑観察会の報告である。

天候も上々で新緑も鮮やかな集合場所の御室仁和寺山門には、多くの観光客の姿が見られ大混雑だったが、集合時刻10時には岳連旗を目印に多くの参加者が集まり、連盟会員32名、一般18名、委員8名、計58名の賑やかな観察会となった。

山門を出発、御室さくら苑では遅咲きとはいえ、すっかり葉桜となった樹高の低い桜の説明。大師堂、不動堂では「シャシャンボの木」の紹介。

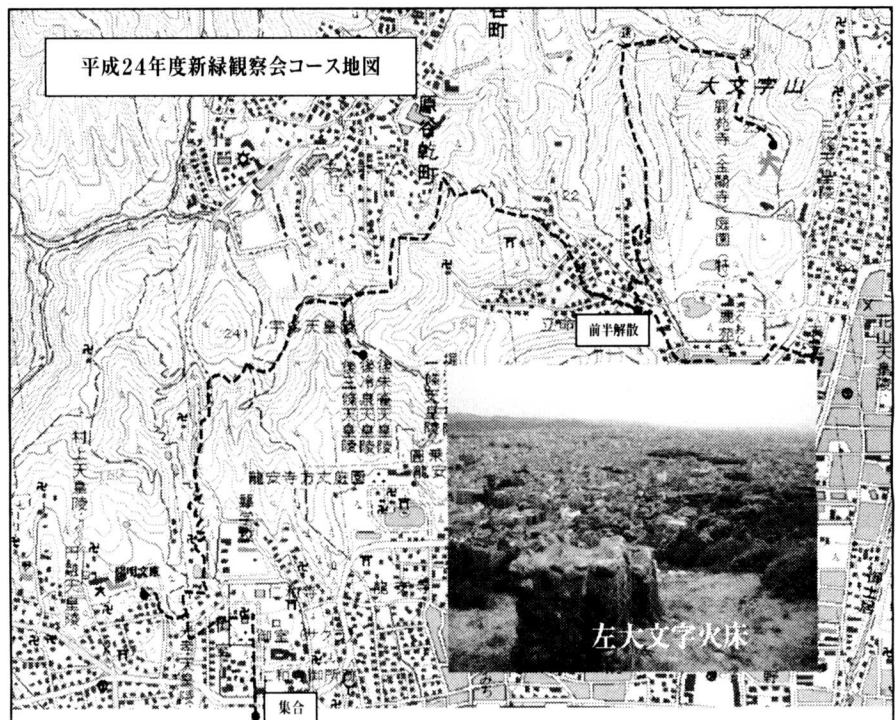
境内を出て御室八十八ヶ所参道から、隣接地の近衛家の敷地にある陽明文庫に立ち寄る。折良く居られた近衛家当主から、所蔵庫前で現在は国立博物館で公開中であるが、近衛家に伝わる国宝多数を含む宝物十数万点を収蔵、平安の王朝文化の華「陽明文庫名宝」の説明を聞く。



御室八十八ヶ所参道に戻り、80番札所御堂から原谷への車道を横切り、右手の宇多天皇陵へのコバノミツバツツジ、ネジキ、モチツツジ、リョウブの木々が続く山道に取り付く。岩稜の天皇陵参道と合流すると、木の間越しに京都市街の展望が広がる。宇多天皇陵には寄らず竜安寺山から衣笠山へ続く開削地で、この様な伐採跡地に良く生育するアメリカヤマゴボウ、コジキイチゴなどのパイオニア植物と埋土種子について説明を聞き昼食。午後は蓮華谷へ続く尾根に戻り、金閣寺西側の原谷道で一旦「府民新緑観察会」は解散となる。

ここからは希望者22名と自然保護委員8名の30名が、金閣寺裏の尾根を左大文字山に登る。金閣寺西側の氷室へ向う道から、東の尾根に入る舗装道を登ると地道となり自然と山道に入る。

北へ山道を登ると最初の合流点で東へ、次いでピークに登った地点の分岐は南下し、少し下ると左大文字の火床である。火床は「立入禁止」で注意したい。火床からの展望は言うまでもない。



【京交参加者】方山宗子、岡田茂久

【第2651回例会報告】

「南亦山」 一等三角点 982m

OB 吉田 武

5月19日(土) 田舎の同窓生を誘って一路 紀勢道路大内山IC(終点)まで走りR42に入る。「大内山牛乳」で有名な所で僕も時々飲んでいる。大内山村 間弓を右折して千石越林道に入る。千石越の2km手前で道路のガードワイヤーの交換工事が行われていたので、ここから歩かなければいけないと思ったが、作業の状態が通行に影響が少ないので通してくれた。680mのところ森林公園の駐車場があって登山口もあったが、千石越まで走り駐車した。登山標識があって登ろうと思っていたら、地元のおじさんが「下の駐車場からののが楽に登れるから」と教えてくれたが、初志貫徹 急登の階段を登った。アセビの新芽が鮮やかに色付いて綺麗だった。1時間ほどで展望台のある三角点に着いた。遠くには海が見え、紀伊山地の山々が見渡せる良き展望台である。

少し腹ごしらえをして、森林公園に向かって下山する。トリカブトの群落が所どころにあり、また植林がしてあるが、伐採する時期を逸しているようである。40分程で森林公園に降りた。少しフラットな所もあったが、階段も多く楽なコースではなかった。

【参加者】吉田 武, 他1名





部 員 動 静

目 的 地	月 日	参 加 者	天 候	記 事
中八人山	5月29日 ～30日	大槻 雅弘 他2名	曇り晴	<p>この山は奈良県十津川村の奥深い山で、京交の大先輩 伊藤潤治氏が今西錦司氏にお誘いを受けて登られた。が、当初計画時は今でも語り継がれ有名になった山小屋焼失事件の山なのである。今、私の手元に今西錦司氏が1959年3月12日付で概念図入の伊藤氏への誘いの手紙がある。4月3日から4月6日までの計画。結果、雨で登山されず、アマゴ釣りに行って、帰って来たら宿泊の「山彦ヒュッテ」が燃えていたのである。その後、1959年6月2日に登られたのである。</p> <p>今、この話は坂井久光氏が同行者として山小屋の消火をされたことや、当時の奈良電鉄で京都駅まで「コゲタ職員証」で帰京された話等、いつ聞いても昨日のごとく楽しく話される。</p> <p>私の登高ルートは、前日夕方に京都を出て、風屋ダムサイドでテント泊。翌朝、スタート地点の最奥の村、奥里から滝川沿いを走り、滝谷との分岐に駐車し登高開始した。急登と高度350mから一気に石佛山1,158mまで登り、灌木帯のゆるやかな尾根を、宮の谷頭を経て中八人山 二等三角点1,396.5mにタッチした。何年も前から登りたかった山で、私の今年の大きな目標の一つが叶った。約50年前に、この十津川村の奥深い山に、よくも登られたものだと、今更ながら今西錦司先生や、伊藤先輩、坂井氏に頭が下る思いである。</p>

例 会 報 告

例会 No.	目 的 地	月 日	天候	担 当 者	参 加 者	記 事
2649	多紀アルプス 三岳 小金ガ岳	5月26日	晴	井戸 澄夫	岡田 茂久 方山 宗子 森本 清一 渡辺 智生F1	(別稿詳報)
2650	岳連 府民 新緑観察会 仁和寺から金閣寺 まで	5月13日	晴	岡田 茂久 方山 宗子	連盟会員 32名 一 般 18名 委 員 8名 (担当者含む) 計58名	(別稿詳報)
2651	南亦山	5月19日	晴	吉田 武	他1名	(別稿詳報)

雑 報

△△△ 5月の集会

日 時 5月11日（金）18：30～
場 所 holly's café（ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル）
出席者 井戸，大倉，大槻，岡田茂，方山，河村，森本，吉田，清水 計9名
内 容 例会結果，例会予告，個人山行，岳連関係報告ほか

△△△ 4月の企画運営委員会

日 時 4月20日（金）18：30～
場 所 holly's café（ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル）
出席者 井戸，吉田，清水
内 容 例会予告，岳連関係報告ほか

△△△ 他山岳会の会報（受贈分）

5月号 京都山岳，趣味の登山，青嶺，比良山岳，木雞，わっぱ

△△△ 平成24年度部費徴収のお知らせ

平成24年度の部費を徴収します。年額6,000円（郵送の方は7,500円）です。企画委員か
会計担当（堀田）までお届け下さい。

△△△ 平成24年度部費受領者について

5月31日現在，次の方々から既に平成24年度部費を受領していますので報告します。
（敬称略）清水康裕，堀田剛

△△△ 故三橋勉氏をお参りしました

3月2日に逝去されました，現企画委員及び名誉部員であらせられた，故三橋勉氏を5
月16日にお参りしました。京交山岳部からご仏前とお供えのお花をしましたところ，たく
さんのご馳走をいただき，3万円のお返しをいただきました。このお金は京交山岳部の運
営に使わせていただきます。

・5月16日にお参りした方

（敬称略）河村清，岡田茂久，大倉寛治郎，吉田武，井戸澄夫，鷺見壽末子，和田良一，
方山宗子，清水康裕，松浦健一

w 京交山岳部OB部員 中山忠之氏におかれましては，平成24年4月22日にご逝去されました。
（享年77歳）衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

△△△ 今西錦司賞の受賞について

名誉部員 大槻雅弘氏が会長をされている一等三角点研究会が「一等三角点全国ガイド」の発行により、4月14日に日本山岳会京都支部から第7回今西錦司賞を受賞されました。



△△△ 岳連からのお知らせ

天気のおしるしを知って、山を楽しく ～気象講演会～

「山岳気象の基礎と夏山の気象」気鋭の気象予報士が登山者の目で分かりやすく解説

日 時 6月30日(土) 開演18:30～(開場18:00～)

会 場 草津市立市民交流プラザ 大会議室

TEL 077-567-2355

JR 琵琶湖線 南草津駅東口 徒歩2分 フェリエ南草津5階

講 師 猪熊隆之氏(気象予報士、中央大学山岳部監督)

チョムカンリ(チベット)第2登、エベレスト西稜、宇奈月から劔岳北方稜線完全トレースなど、国内外の登山経験が豊富。昨年、国内唯一の山岳気象専門会社「ヤマテン」を設立。登山者の観点から捉えた天気予報をインターネットや携帯電話を活用して発信。多くの登山家から、高い信頼を得ている。「山と溪谷」、「岳人」で山岳気象講座を連載。山と溪谷社より、「山岳気象大全」を出版。講演依頼も多く、「NHK-BS グレートサミッツ」などTV出演、朝日新聞「ひと」などで、気鋭の山岳気象予報士として紹介されている。

会 費 1,000円(余剰金は東日本大震災の支援費用とします。)

定 員 130名

主 催 滋賀県勤労者山岳連盟 東日本大震災支援委員会・救助隊

後 援 朝日新聞大津総局、京都新聞滋賀本社、滋賀県教育委員会

申し込み 090-3727-3721(県連)

(問合せ)

または touhokusien311@yahoo.co.jp 宛に